

第7回ごみ減量検定 正解と解説

1月17日発行のサイョプレスvol.30で「第7回ごみ減量検定」として問題を掲載しました。多くの方からご応募いただき、ありがとうございました。

今回は、検定問題の正解発表と解説をします。
 解答を提出した方は、自己採点してみましょう。解答を提出していない方は、問題に挑戦してみてください。

解答を提出された方へ

18問以上正解した方には合格者として、「ごみ減量マスター認定証」をお送りします。また、合格者の中から抽選で3,000名様に記念品として「サイョオリジナル多機能ペン」を進呈いたします。
 合格の結果及び記念品の抽選結果は、認定証・記念品の発送をもってかえさせていただきます(3月下旬までに順次発送)。
 採点結果に関するお問い合わせは受け付けません。



●分け方・出し方に関する問題

問題1 「プラマーク容器包装」の出し方として、間違っているのは？

1. プラマークを確認して出す
 2. 中身を使い切って出す
 3. 汚れを取り除いて出す
 4. 黒のポリ袋に入れて出す

正解:4 収集時に中身が確認できるように、透明・半透明のポリ袋に入れて出してください。

問題2 ごみ・資源の出し方で間違っているのは？

1. 傘を「燃やさないごみ(巻広域は普通ごみ)」として出す
 2. 角材を「枝葉・草」として出す
 3. 殺虫剤のスプレー缶を「特定5品目」として出す
 4. ジャンルのびんを「飲食用・化粧品びん」として出す

正解:2 角材は溶剤などが付着しており、資源化処理の支障になりますので、「燃やすごみ(巻広域は普通ごみ)」か「粗大ごみ」として出してください。

問題3 「雑がみ」として古紙類の日に出来るものは？

1. 写真
 2. レシート(感熱紙)
 3. お菓子の外箱
 4. 紙コップ

正解:3 「雑がみ」は、新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙類のことです。1と2はリサイクルに向かない紙、4は防水加工されている紙ですので、「燃やすごみ(巻広域は普通ごみ)」の日にしてください。

問題4 「特定5品目」の日に出来ないものは？

1. スプレー缶類
 2. LED電球・白熱電球
 3. 乾電池類
 4. 水銀体温計

正解:2 LED電球・白熱電球は水銀を含まないので「燃やさないごみ(巻広域は普通ごみ)」で出してください。
 特定5品目では、スプレー缶類、乾電池類、水銀体温計、蛍光灯、ライターを収集しています。

問題5 在宅医療で使用した注射器(針)の正しい出し方は？

1. 「 プラマーク容器包装」として出す
 2. 「特定5品目」として出す
 3. 「燃やさないごみ(巻広域は普通ごみ)」として出す
 4. かかりつけの医療機関に出す

正解:4 在宅医療で使用した注射器(針)は感染性があるため、市では収集しません。かかりつけの医療機関に出してください。
 なお、感染のおそれのない プラマークのついている点滴用バッグは、プラマーク容器包装で出すことができます。

問題6 粗大ごみの戸別収集で申し込みできないものは？

1. 電子レンジ
 2. バスケットのゴール
 3. 石油ストーブ
 4. 消火器

正解:4 消火器は、市では収集しません。販売店に相談するか、(株)消火器リサイクル推進センター(☎03-5829-6773)にお問い合わせください。

たくさんのご応募、ありがとうございました！

●市のごみ政策に関する問題

問題7 平成27年10月から使用済小型家電のリサイクルに新しい回収方法が加わりました。その回収方法は？

1. 宅配便での回収
 2. ごみ集積場での回収
 3. 障がい者施設での対面回収
 4. 回収拠点でのボックス回収

正解:1 使用済小型家電リサイクル法に基づく認定事業者である「リネットジャパン株式会社」と協定を結びました。リネットジャパン株式会社は「宅配便」による使用済小型家電の回収を行っています。リネットジャパン株式会社のホームページからお申し込みください。

問題8 市では、様々な資源物の拠点回収を行っています。次のうち、回収を行っていないものは？

1. 古紙類
 2. ペットボトル
 3. 灯油
 4. 電動生ごみ処理機で乾燥させた生ごみ

正解:3 灯油の処分は販売店に相談してください。
 市では古紙類、ペットボトル、使用済小型家電、廃天ぷら油、古布・古着、乾電池、電動生ごみ処理機で乾燥させた生ごみを回収し資源化しています。

問題9 「3Rシティにいがた マイボトルキャンペーン2015-16」の実施内容として間違っているのは？

1. マイボトルに飲料を提供してもらう
 2. 市内約180店舗が参加
 3. スタンプをためると抽選で景品が当たる
 4. Negiccoの握手券がもらえる

正解:4 マイボトルを持ち歩くことで使い捨て容器を削減できます。今年度は市内約180店舗が参加し、マイボトルへの飲料提供・スタンプラリー・割引や増量サービスを行っています(一部店舗を除く)。

問題10 市では、古布・古着の拠点回収を行っています。回収拠点の数は何か所でしょうか？

1. 1か所
 2. 8か所
 3. 50か所
 4. 100か所

正解:2 各区に1か所設置しています。また、環境フェア(10月)などイベントでの回収も行っています。

問題11 平成27年10月から各区役所で販売している「サイョのマジックダンボール」とは何のことでしょうか？

1. 折りたたみ椅子
 2. ごみ箱
 3. 生ごみを堆肥化できるセット
 4. プランター

正解:3 「サイョのマジックダンボール」は家庭で手軽に生ごみを堆肥化できる市オリジナルの段ボールコンポストです。ベランダや家の中など省スペースで取り組むことができます(各区役所にて500円で販売)。

問題12 平成27年3月からスマートフォンなどで利用できるごみ分別アプリを公開しました。次のうち、このアプリにない機能はどれ？

1. ごみ分別単語検索機能
 2. ごみ収集カレンダー表示機能
 3. ごみの分け方・出し方解説機能
 4. お天気お知らせ機能

正解:4 主な機能は、①ごみ分別単語検索、②ごみ収集カレンダー表示、③ごみの分け方・出し方解説、④ごみ出し日お知らせアラーム、⑤資源物回収拠点の地図表示です。ご活用ください。

問題13 新潟市の平成25年度のリサイクル率は何%だったでしょうか？

1. 5.2%
 2. 10.5%
 3. 27.2%
 4. 60.3%

正解:3 平成25年度は27.2%で、政令市の中では千葉市に次いで第2位でした。皆さんのご協力に感謝いたします。これからもごみの減量・分別にご協力をお願いします。

問題14 高齢者や障がい者の方のごみ出しを支援する自治会等の団体に対し、支援金を交付しています。この事業名は？

1. ごみ出し支援事業
 2. ふれあい事業
 3. サイョごみ出し隊
 4. ごみ助成事業

正解:1 「ごみ出し支援事業」とは、高齢者や障がい者の方のごみ出しを支援する団体に、市から支援金を交付する事業です。
 市内で約130団体の登録があります。登録の方法など詳しくは廃棄物対策課(☎025-226-1407)にお問い合わせください。

問題15 生ごみの地域循環ループを構築するため、市内3か所に生ごみ処理機を設置して堆肥化を行っています。次のうち、処理機が設置されていない場所は？

1. 中央区：子どもふれあいセンター
 2. 江南区：農産物直売所「大地」
 3. 南区：アグリパーク
 4. 西蒲区：森のエコステーション巻店

正解:1 家庭から出る生ごみを水切りし、江南・南・西蒲区の生ごみ処理機設置場所にお持ちください。できた堆肥は農家の方や地域住民の方から利用いただけます。参加には会員登録が必要です。興味のある方は廃棄物政策課(☎025-226-1391)にご連絡ください。

問題16 3Rに関する取り組みを積極的に行っている事業者を「3R優良事業者」として認定しています。次のうち、優良事業者の取り組みとして間違っているのは？

1. 事務所内の消耗品は詰め替え式を購入している
 2. 紙の使用枚数を減らす取り組みをしている
 3. エコマークのある商品を利用している
 4. 資源物を分別しないで捨てている

正解:4 3R(リデュース、リユース、リサイクル)に積極的に取り組む事業者を認定し、市ホームページなどで広報しています。

問題17 使い捨て容器削減のため、現在実施している取り組みは何でしょうか？

1. 紙皿の提供
 2. リユース食器の無料貸出し
 3. 不要なマイボトルの拠点回収
 4. 紙コップの提供

正解:2 リユース食器とは、繰り返し使用できる食器のことです。自治会・町内会などが開催する営利を目的としないイベントを対象に無料貸し出しをしています。
 利用期間 ~平成28年3月31日(木)
 【申込期限:平成28年2月29日(月)】

問題18 ごみ有料化による手数料収入により行っている取り組みは？

1. 公園の建設費
 2. ごみ集積場の設置への補助
 3. 道路の建設費
 4. 学校の建設費

正解:2 指定袋の作製経費を除いた家庭ごみ有料化による収入は、自治会・町内会が行うリサイクルの取り組みや地域活動を支援することで市民の皆さんに還元しています。

問題19 平成27年7月から「にいがた未来ポイント」が始まりました。次のうち、ポイントの対象にならないのは？

1. マイボトルキャンペーンへの参加
 2. 生ごみ水切り講座への参加
 3. 段ボールコンポスト講座への参加
 4. 粗大ごみの戸別収集

正解:4 環境配慮につながる活動に参加するとポイントがもらえます。ポイントは、新潟市共通商品券やバス乗車ポイントに交換できます。

●環境・ごみに関する一般的な問題

問題20 市では10月を「ごみ減量・リサイクル推進月間」とし、ごみ減量の意識啓発を行いました。次のうち、ごみの減量につながる取り組みは？

1. 食べる量以上の料理を作る
 2. 過剰な包装やレジ袋は断る
 3. 分別せずにごみを出す
 4. 修理できるにも関わらず新しいものを購入する

正解:2 毎日出るごみも日頃のちょっとした心がけで減らすことができます。ごみの減量を意識して行動してみませんか。

マイボトルキャンペーン2015-16 第2回抽選応募締切りは2月29日(月)です!

スタンプ5個から応募できます。まだの方はお急ぎください!
 なお、締切り後もスタンプをためることができます。
 たまったスタンプの利用方法は、次年度のキャンペーンでお知らせします。

応募ハガキ付
 ライフガイドは
 市の施設や
 キャンペーン
 参加店で配布中

ホームページ
 QRコード

Facebook
 QRコード